総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域人材ネット

住民協働や官民連携による社会課題解決コーディネート

秋田　大介　（　あきた　だいすけ　）

①株式会社イマゴト　代表取締役
②一般社団法人アスミー　代表理事
③NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト　CEO&副理事長
④元神戸市役所　技術系職員（都市計画・まちづくり、環境・エネルギーが専門）

○ 登録者情報

所在地

兵庫県神戸市

略歴

・2001年 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻（環境システム領域）卒
・2002-23年：神戸市役所（都市計画が専門の土木技術職員）
　□2002-09：都市計画部局（都市計画決定、都市再生事業、震災復興事業、鉄道利便増進事業）
　□2010-12：道路管理部局（橋梁、法面、排水などの維持管理）
　□2013-18：都市計画部局（総合交通、都心ビジョン策定、立地適正化計画）
　□2019-22：企画調整部局（社会課題解決コーディネート、再生可能・水素エネルギー・海洋産業）
　□2023：環境部局（脱炭素、再生可能・水素エネルギー）
・2017年-現在：NPO法人須磨ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾋﾞｰﾁﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ設立（副理事長）
・2019年-現在：Kobe Mural Art Project立ち上げ（実行委員会代表）
・2020年-現在：一般社団法人アスミー設立（代表理事）
・2021年-22：京都芸術大学大学院学際デザイン研究領域（社会人大学院生）
・2023年：神戸市を退職し起業　株式会社イマゴトを設立し代表取締役に就任
（その他人材登録等の肩書き）
・地域活性化伝道師（内閣府）
・脱炭素まちづくりアドバイザー（環境省）
（個人受賞）
・地域に飛び出す公務員アウォード2018受賞（ネット投票1位）
・地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2019受賞
（団体受賞）
・ひょうごユニバーサル社会づくり賞（推進会議会長賞）2018年受賞
・IAUD(国際ユニヴァーサルデザイン協議会)国際デザイン賞2019金賞受賞

著書・論文等

○ 住民協働や官民連携による社会課題解決コーディネート

取組の内容

【1. Kobe 1000 SMiLE Project】
都心再整備事業のプロモーションで、神戸ゆかりの1000組を募集し1000本のショートムービーを製作し、出演者の口コミを活用してSNS（facebook、Instagram、twitter）でPRしました。

【2. NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト】
障がい者の「できない」を「できた！」に変える体験を提供しています。車いすユーザーが須磨での海水浴場を楽しむユニバーサルビーチをきっかけにNPOを設立し、行政と連携して障がい者の社会進出に取り組んでいます。

【3. Kobe Mural Art Project】
ミューラル（壁画）を通してアーティストが生活できる街を目指しています。市庁舎にミューラルを描くために個人で実行委員会を設立しました。

【4. つなぐ課特命課長】
縦割り解消のために創設された【つなぐ課】の第１期特命課長として社会課題解決のための官民連携コーディネートを担いました。

【5. 一般社団法人アスミー】
全国で災害が頻発しているため、全国の地方自治体職員をつないで、災害時にお互いの家と家族をサポートしあう互助のシステムを構築しました。

1000 SMiLE Projectの最後の1000組目の撮影に集まった神戸ゆかりの方たち

須磨海岸のユニバーサルビーチでNPOスタッフと一緒に海に入っていく車いすユーザー

実績

【1. Kobe 1000 SMiLE Project】
リーチ総数200万を達成し、プロジェクトを自ら広報してくれる市民ファンがたくさんできました。1000組目の撮影のファイナルイベントには450人ほどが集まる盛況ぶりで、この後、多くのプロジェクトを生み出すつながりになりました。

【2. NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト】
海水浴、山登り、木登り、サーフィン、スキーなど様々なチャレンジを行い、活動も全国20以上の都道府県でユニバーサルなアウトドアアクティビティを展開しています。IAUD国際デザイン賞2019金賞を受賞しました。

【3. Kobe Mural Art Project】
市の予算が取れないためクラウドファイディングで566万（約800人）の資金調達とスポンサー調達を行い800万の資金をかくほしました。そして全国で初めて市庁舎の壁への巨大壁画を含め合計6枚のミューラルを描きました。

【4. つなぐ課特命課長】
市内の未指定文化財などを守っていくための【神戸歴史遺産認定制度】、ローカル鉄道沿線活性化の

工夫した点や苦労した点

複雑な社会課題に対応するにあたって、今見えている課題が本当に解決すべき課題なのか、もっと深いところや別のところに原因があるのではないか、という問いを常に立てる工夫をしています。
また、官民連携をコーディネートするにあたっては、庁内組織の壁や官民の壁を乗り越えられるようなストーリーや仕組みを丁寧につくることに注力しています。そのために関係する方たちの立場をよく理解することがとても大切です。

ひとことPR

多くの社会課題は、これまでも行政が対応をしてきましたが、人口減少や高齢化など、様々な影響を受けてどんどん複雑化しています。複雑化する課題に関しては行政の縦割り体質から抜け出し、さらに官民の壁を乗り越えた仕組みをつくって、対応していく必要があります。デザイン思考やアート思考なども組わせながらやるべきポイントに効果のある施策を打ち出すことを考えています。うまくコーディネートすれば、一つの取り組みで複数の課題を解消することも可能です。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

1.地域資源を活用した地域経済循環		2.まちなか再生	
	地場産品発掘・販路開拓		中心市街地活性化
	6次産業化	○	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
	経営資源の引継（事業承継等）・起業支援		商店街活性化
○	地域中核企業等の支援		その他
	その他		
3.生活機能の維持		4.環境保全・SDGs	
	地域医療・福祉	○	分散型エネルギーシステム
○	地域交通	○	地球温暖化対策
	集落機能の確保	○	廃棄物・リサイクル対策
	その他	○	その他　水素エネルギー
5.防災減災・危機管理		6.観光振興・交流	
	建築物耐震化・長寿命化		DMOとの連携
	地区防災計画		インバウンド対応
	BCP	○	民泊・農泊
	避難所運営		地域おこし協力隊の推進
	感染症対策		その他
○	その他　共助システムの構築		
7.関係人口の創出・拡大		8.移住・定住促進	
	滞在・活動の場づくり		起業・事業承継等支援
	地域おこし協力隊の推進		空地・空家対策
	地域と関係人口の協働		地域おこし協力隊の推進
	その他		その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援		10.地域づくり人材の育成・教育	
	結婚・出産・子育て支援	○	人材研修
○	働き方改革		ふるさと教育
	子どもの貧困対策		地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
	その他	○	その他　副業人材育成
11．自治体経営イノベーション		12.シティプロモーション・地域PR	
	財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備）		地域ブランディング
○	官民連携（PPP・PFI）		メディア活用策
○	自治体間連携		効果の把握・評価
○	住民参加		その他
○	EBPMに基づく政策立案		
	その他		

関連ホームページ

株式会社イマゴト	https://ima-goto.com/
一般社団法人アスミーのHP	https://www.shiyakushohack.org/2
NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトのHP	https://sumauniversalbeach.com/

連絡先

メールアドレス	akita〔アットマーク〕ima-goto.com		

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。